

中2現代文TSL 論証の組み立てを捉える

新書を読んで論証の組み立てを捉え、新書の内容を要約しよう。
思わず手に取って読みたくなるような、説得力のある本の紹介をしよう。



回	日時	内容	身につけたい力
1	2/4(木)	概要説明・ループリック確認 成果物下書き作成	ロジカルシンキング・表現
2	2/8(月)	成果物作成	ロジカルシンキング・表現
3	2/9(火)	成果物作成	ロジカルシンキング・表現
4	2/15(月)	発表・共有	
5	2/16(火)	発表・共有・評価	

中2()組 出席番号() 氏名()

◆概要説明・ルーブリック

観点（到達目標）	タグ	A	B	C
ものごとを筋道立てて考えることができる【ロジカルシンキング】	8	新書を読み、3-4p程度の章の組み立てを理解して、根拠（事実・考察）と結論（意見）に区別した上で、論証を正確に捉えることができる	新書を読み、3-4p程度の章の組み立てを理解して、根拠（事実・考察）と結論（意見）に区別することができる	新書を読み、3-4p程度の章の組み立てを理解して、根拠（事実）と結論（意見）を区別できない
思考を的確な文章で表現することができる【表現】	15	要約した文章を抽象化して、本の中の用語に頼らず豊かな語彙力でキャッチコピーをつくることができる。 例：ジャパナレッジ・類語辞典・表現辞典などの活用	要約した文章を抽象化して、章の中の用語を用いてキャッチコピーをつくることができる。	要約した文章を抽象化して、本の中の語彙を用いてキャッチコピーをつくったが、章の内容とずれている。

◆成果物作成時の注意事項

- ①成果物はclassroom内で共有しているpagesのフォーマットを使用すること。
（カラー文字の部分は自由に色を変更してもOKです）
- ②書名・著者名・発行所・発行年は正しく記載してください。
- ③内容紹介の部分は、本の帯などの内容を転記してください。
- ④選んだ章のタイトル・節のタイトルを記載してください。
- ⑤事実・考察・結論の順番に改行して書き、根拠と結論の間は1行あけて下さい。
- ⑥著者の写真や本に関連した写真や図などを必ず1枚は挿入してください。

◆成果物下書き用

→論証トライアングルを意識して、まとめよう！

- ①根拠（事実）をまとめる

②根拠（考察）をまとめる

③結論（意見）をまとめる

◆選んだ新書について

・書名：

・著者名：

・発行所：

・発行年：

・選択した章のタイトル：

・選択した節のタイトル：

◆成果物見本

書名 教育激変

著者名 池上彰・佐藤優

発行所 中央公論新社

発行年 二〇一九年

内容紹介

二〇二〇年度、教育現場には「新学習指導要領」が導入され、新たな「大学入学共通テスト」の実施が始まる。なぜいま、教育は大改革を迫られるのか。

日本が危機的状況から脱出するためには教育の強化が最も必要だ、と語る二人の対談から、日本の教育の問題点と新たな教育改革の意味が解き明かされる！

第五章 揺らぐ知の基盤 大学をどうする

節のタイトル 私大は入試の「作問力」で勝負を始めた

事実 早稲田大学の文化構想学部の入試問題は、近代文語文、つまり江戸末期から明治時代の文語文が出題されている。一橋と上智大学も同様である。

考察 早慶や同志社・関学といった私立大学が、単純に東大や京大の「滑り止め」にできなくなっている。私大側が、そこを第一志望にして独自の勉強をしないと受からないような問題を、受験生に課しているのだ。これらの大学がなぜ、そういう入試をするのか。それは、「特別の勉強をしてこの大学に入りたい」という「第一志望の学生」を集めるための入試戦略だからである。

結論 第一志望の学生を集めることは、日本の教育界に巣食う意味のない大学のヒエラルキーを打破する意義が明確で、まず、大学の側が、そこで学びたい学生を探り「ここに来てよかった」と思わせる、そういった実践を広げることが必要だ。

偏差値ではなく、目的意識を重視する時代へ

キャッチコピー

※著作権保護のため非表示